

編集後記

立冬というのに暖かな日ざしで、地球全体の温暖化現象を肌で感ずる今日このごろです。

今月号の特集は「筋力増強」です。筋力増強は理学療法の基本となるだけに、臨床現場に即した効率的な方法論の追求と組織学的な検討とが重要となってきます。そこで猪飼氏には、筋萎縮のメカニズムを組織学的に解説していただき、一方、その筋力低下を改善すべき処方を出す立場の大川氏からは、処方の理論的根拠を具体的に述べていただきました。いずれもおおいに参考となります。中田氏には、高齢者の筋力増強について健康づくり教室の実践活動を通しての効果、リスク管理までを報告していただきました。浦辺氏には、スポーツ選手の筋力と筋力増強訓練についての特異性を、また江崎氏には、電気刺激を用いた筋力増強の効果について詳述していただきました。両氏とも組織学的、運動学的な検討の必要性を強調しています。

いよいよ「講座」は佳境に入ってきました。網本氏の「高次脳機能障害の評価」では、実際に使用している評価法を軸に詳しく解説していただきました。この分野に理学療法士がもっと積極的に取り組む必要性を感じています。細見氏の「医



療倫理と哲学」は、患者と治療者との関係を再考させられ読みごたえのある内容であり、ぜひ一読していただきたい論攷です。

半田氏の「あてな」は、少人数職場では研究時間や設備が無いと悩んでいる方が多い、と報告していますが、大峯氏が「とびら」で述べているようにプロ意識に目覚め、前進していただきたいと思います。本誌もよりいっそう、臨床、研究に役だつよう読者の皆さんの期待に応えていく所存ですので、ご意見をお待ちしています。

札幌で開催される第25回学会の抄録を書き上げるために夜遅くまで頑張っておられるでしょうが、向寒の折からご自愛のほどを。

(鶴見 隆正)

理学療法ジャーナル

(第23巻 第11号)

1989年11月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,391円(本体1,350円)
(配送料60円)

年ぎめ予約購読料 15,821円
(本体15,360円)
(送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京7-96693番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1989, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長

横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川リハビリテーション
病院

上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部

鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短期大学

吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男

今 川 忠 男

宇都宮 初 夫

大喜多 潤

大 田 近 雄

大 峯 三 郎

金 子 誠 喜

菊 地 延 子

木 山 喬 博

工 藤 俊 輔

佐々木 伸 一

高 田 京 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

武 富 由 雄

寺 山 久 美 子

富 岡 詔 子

橋 元 隆

半 田 健 壽

藤 沢 しげ子

前 田 哲 男

牧 田 光 代

松 沢 博

丸 山 仁 司

宮 本 省 三

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

米 田 睦 男